ニュースと話題
NEWS & TOPICS

1月27日 ふるさとを味わった給食フェア

全国学校給食週間に合わせ、市内全ての学校給食センターで、学校給食フェアが開かれました。地元の食材を取り入れた献立や、子どもたちに人気のある献立を試食し、学校給食への理解を深めてもらおうと、毎年行っている催しです。

調理場見学の後、市内産の食材を使用したハヤシシチューや串原こんにゃくのサラダなど5品が提供され、試食会がスタート。参加した早川未希さん（大井町）は「もうすぐ子どもがセンターの給食を食べるようになるので、興味があって参加しました。昔と変わらない味で安心しました」と、笑顔で味わっていました。

1月30日 企業と地域で水源を守る協定を締結

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社（東京都港区）と中野方地域協議会、県、市の4者は、期間満了に伴い、水源となる森を守るための協定を改めて結びました。協定区域は中野方ダム周辺の森林など約210㌶とし、期間を令和12年3月31日までに延長しました。

同社のレイモンド・シェルトン部長は「長い年月をかけて育まれた水は、わが社の製品になる。恵那市の美しい自然が子どもたちに受け継がれることを望んでいる」とあいさつしました。協議会の池戸克行会長は「町を挙げて森づくり活動に協力したい」と意気込みました。

1月27日 中部大学と連携に関する協定を締結

中部大学（愛知県春日井市）と市は、人材育成、地域社会と学術研究の発展のため、互いに連携する協定を結びました。

同大の研修センターが武並町にあることから、市では各審議会委員などを教授に依頼するなど、これまでも関わりを持ってきました。

石原修（おさむ）学長は「地元で活躍する人材を育て、さらに連携が進むことを期待します」とあいさつ。小坂市長は「協定を機に、人づくりや市の活性化につなげたいと思います」と話しました。今後さまざまな分野で相互協力し、まず地歌舞伎の調査と活性化から取り組みを始める予定です。

2月1日 重要文化財を火災から守ろうと訓練

文化財防災デーに合わせて、本殿が国重要文化財に指定されている武並神社（大井町）で、防火訓練が行われました。

この日は、武並神社自衛消防隊や近隣住民ら約30人が参加。境内から出火し、本殿に燃え移る恐れがあるという想定で訓練を行いました。参加者は、敷地内の防火水槽からホースをつなぎ、声を掛け合いながら放水。消火器の使い方も専門業者から教わり、実際に使って訓練をしました。

隊長を務めた同町の澤田晃二さんは「消火器具を使った訓練は初めてで、実際やってみてよく分かった。しかし火事を起こさないことがまずは大切」と話しました。

2月2日 白熱の一戦、小中学生の百人一首大会

大井小学校体育館で、市子ども会指導者連絡協議会がかるた取り大会を開催し、約80人が熱い戦いを繰り広げました。

参加者は抽選で6人一組になり、百人一首の乱取りに2回挑戦しました。競技が始まるまでは笑顔で話をしていた子どもたちでしたが、札が並べられると表情は一変、真剣な顔つきに。覚えた句を先に取られまいと、読み手が上の句を読み出すとすぐに「はい」と手を伸ばす姿が、あちらこちらで見られました。

小学校の部優勝は三郷小学校6年生の伊藤沙優（さゆ）さん、中学校の部優勝は恵那西中学校1年生の宮地真未（まみ）さんでした。

2月10日 えなハヤシの調理にチャレンジ

岩邑小学校で、ご当地グルメ「えなハヤシ」を学ぶ授業があり、5年生45人が調理に挑戦しました。

えなハヤシは、市内飲食店の店主らが組織する「恵那ハヤシライスどお～っと混む」が、恵那のB級グルメとして普及を目指しているハヤシライス。岩村藩の藩医だった早矢仕有的（はやしゆうてき）の考案だといわれています。

授業では店主らが講師として参加。野菜の炒め方やルーを入れるタイミング、味の調整方法などを伝えました。参加した荻野稜大（りょうた）君は「タマネギを細かく切るのが難しかった。家で時々料理を手伝うから、えなハヤシも作ってみたい」と話しました。

2月14日 ポーランドを応援するTシャツを作製

市ホストタウン推進実行委員会は、東京オリンピックに出場するポーランドカヌーチームを応援するため、オリジナルTシャツを作製しました。阿部伸一郎運営委員長は「販売中のピンバッジも好評です。このTシャツを着て一緒に応援できるよう、パブリックビューイングも計画しています」とPRしました。

Tシャツは、正面にポーランド共和国と日本国旗のクロスロゴ、ポーランドカヌー連盟のロゴ入り。背面には日本語とポーランド語で「がんばれポーランド」と書かれています。販売価格は1枚1,700円で、収益は交流事業に充てられます。

2月16日 色鮮やかな衣装に会場が華やいだ

第30回市伝統芸能大会で、ポーランド文化がさまざまな形で紹介されました。ステージでは関西ポーランドダンス愛好会「クラコ」が民族舞踊を披露。音楽と色鮮やかな衣装で、会場は華やかな雰囲気に包まれました。ロビーではポーランド雑貨などの出店もあり人気を集めました。

駐日ポーランド共和国大使館のマウゴジャータ・シュミットさんは、ポーランド文化について写真を交えて紹介。来場者の西尾真理子さん（岩村町）は「カヌー競技の観戦チケットが当たったので、ポーランドを知ろうと思って参加しました。オリンピックが楽しみです」と話しました。